

第5章

【問題5-1】②：(ア) 正 (イ) 誤

ア) 問題文の通り。

イ) 企業の活動を制約する規制の有無に関する情報は、定性情報である。

* 定量情報：数値として表現できる情報。（財務諸表、販売数量、販売シェア、生産数量、従業員数、株価など）

* 定性情報：数値で表現しにくい文章で表現される質的な情報。（経営者の資質、従業員の熟練度、業界での優劣、技術力、規制の有無など）

【問題5-2】④：(ア) 誤 (イ) 誤

ア) 3年後の売上高 $172.8 = \text{今年度の売上高}100 \times 120\% \times 120\% \times 120\%$

イ) 伸び率はマイナスの値になる。

* 例：昨年度の売上高が100、今年度の売上高が90の場合、伸び率は $\Delta 10\%$ となる。

【問題5-3】 【問1】③：(ア) 133.3 (イ) 高い 【問2】④：(ア) 誤 (イ) 誤

【問1】

ア) X2年度の営業利益の対前年度比率 $133.3\% = \text{X2年度の営業利益}800 / \text{X1年度の営業利益}600 \times 100$

イ) X2年度の対前年度比率は営業利益（133.3%）の方が売上高（120.0%）よりも高い。

* X2年度の売上高の対前年度比率 $120.0\% = \text{X2年度の売上高}6,000 / \text{X1年度の売上高}5,000 \times 100$

【問2】

ア) 販売費及び一般管理費は増加（X1年度950→X2年度1,000）しているが、売上高販売費及び一般管理費率は下降（X1年度19.0%→X2年度16.7%）している。

* X1年度の売上高販売費及び一般管理費率 $19.0\% = \text{販売費及び一般管理費}950 / \text{売上高}5,000 \times 100$

* X2年度の売上高販売費及び一般管理費率 $16.7\% = \text{販売費及び一般管理費}1,000 / \text{売上高}6,000 \times 100$

イ) X4年度の当期純利益 $625 = \text{X2年度の当期純利益}400 \times 125\% \times 125\%$

* X2年度の当期純利益の伸び率 $25.0\% = (\text{X2年度の当期純利益}400 - \text{X1年度の当期純利益}320) / \text{X1年度の当期純利益}320 \times 100$

【問題5-4】③：(ア) マイナス (イ) 高く

- ア) 流動比率(=流動資産/流動負債×100)が100%を下回る場合、分子の流動資産よりも分母の流動負債の方が大きいため、正味運転資本(=流動資産-流動負債)はマイナスになる。
- イ) 当座比率(=当座資産/流動負債×100)の分子の当座資産は、流動資産から棚卸資産を控除することで計算できるため、棚卸資産があるとき流動比率は当座比率よりも高くなる。

【問題5-5】④：(ア) 誤 (イ) 誤

- ア) 手元流動性(=現金及び預金+有価証券)には、投資有価証券は含まれない。
* 手元流動性に含まれるのは流動資産に区分される有価証券。

| | | |
|------------|----------|------------|
| 売買目的有価証券 | | 有価証券(流動) |
| 満期保有目的の債券 | 満期日が1年以内 | 有価証券(流動) |
| | 満期日が1年超 | 投資有価証券(固定) |
| 子会社・関連会社株式 | | 投資有価証券(固定) |
| その他有価証券 | 満期日が1年以内 | 有価証券(流動) |
| | 満期日が1年超 | 投資有価証券(固定) |

- イ) 手元流動性がマイナスになることはない。
* 現金及び預金や有価証券がマイナスになることはないため。

【問題5-6】③：(ア) 誤 (イ) 正

- ア) 当座比率(=当座資産/流動負債×100)の分子の当座資産は、流動資産から棚卸資産を控除することで計算できるため、棚卸資産の分だけ流動比率(=流動資産/流動負債×100)よりも当座比率の方が低くなる。
- イ) 問題文の通り。
* 財務レバレッジ=負債純資産合計/自己資本×100
* 自己資本比率=自己資本/負債純資産合計×100

【問題5-7】③：自己資本比率

- 資金の源泉側のバランスを見て、長期的な安全性を判断する指標は自己資本比率。
* 流動比率、当座比率、正味運転資本は短期的な安全性を判断する指標。
* 自己資本利益率は収益性の指標。

【問題5-8】【問1】③：600【問2】④：160

- ア) 固定負債600=資産合計2,000×(100%-自己資本比率45%-流動負債の貸借対照表構成比率25%)
- イ) 流動比率160%=流動資産800/流動負債500×100
* 流動資産800=流動負債500+正味運転資本300
* 流動負債500=資産合計2,000×流動負債の貸借対照表構成比率25%

貸借対照表

| | | | |
|-------------------------|--------------|---|-----|
| 流動資産 800 | 流動負債 500 | } | 25% |
| | 固定負債 600 | } | 30% |
| 固定資産 (繰延資産) 1,200 | 純資産 900 | } | 45% |
| 資産合計2,000 | 負債純資産合計2,000 | | |

+ 300 ←

【問題5-9】③：(ア) 誤 (イ) 正

- ア) 売上高よりも総資本の方が大きい場合、総資本回転率 (= 売上高 / 総資本) は1回を下回る。
- イ) 分子の売上高を維持したまま分母の総資本 (総資産) を小さくすれば、総資本回転率は大きくなり改善する。

【問題5-10】①：(ア) 売上高 (イ) 自己資本

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{自己資本当期純利益率} & = & \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} & \times & \frac{\text{売上高}}{\text{総資本}} & \times & \frac{\text{総資本}}{\text{自己資本}} \\
 \text{(ROE)} & & \underbrace{\hspace{2cm}} & & \underbrace{\hspace{2cm}} & & \underbrace{\hspace{2cm}} \\
 & & \text{売上高} & & \text{総資本} & & \text{財務} \\
 & & \text{当期純利益率} & & \text{回転率} & & \text{レバレッジ}
 \end{array}$$

【問題5-11】③：(ア) 低く (イ) 高く

- ア) 自己資本比率は財務レバレッジの逆数であるため、財務レバレッジを高くすると自己資本比率は低くなる。
- イ) 財務レバレッジが高くなると、自己資本当期純利益率は高くなる。
- $$\begin{array}{ccccccc}
 \text{自己資本当期純} & = & \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} & \times & \frac{\text{売上高}}{\text{総資本}} & \times & \frac{\text{総資本}}{\text{自己資本}} \\
 \text{利益率 (ROE)} & & \underbrace{\hspace{2cm}} & & \underbrace{\hspace{2cm}} & & \underbrace{\hspace{2cm}} \\
 & & \text{売上高} & & \text{総資本} & & \text{財務} \\
 & & \text{当期純利益率} & & \text{回転率} & & \text{レバレッジ}
 \end{array}$$

【問題5-12】①：(ア) 45 (イ) 2.0回 (ウ) 225

ア) 自己資本利益率45% = 当期純利益900 / 自己資本2,000 × 100

* 当期純利益900 = 売上高9,000 × 売上高当期純利益率10%

* 自己資本2,000 = 資産合計4,500 - 負債合計2,500

イ) 総資本回転率2.0回 = 売上高9,000 / 総資本4,500

ウ) 財務レバレッジ225% = 総資本4,500 / 自己資本2,000 × 100

【問題5-13】②

① 自己資本当期純利益率 (ROE)

③ 1株当たり純資産 (BPS)

④ 時価総額

【問題5-14】②：(ア) 正 (イ) 誤

ア) 問題文の通り。

イ) 1株当たり当期純利益は株価収益率の計算の基礎指標として用いられる。

【問題5-15】③

① 自己資本当期純利益率 (ROE)

② 1株当たり当期純利益 (EPS)

④ 時価総額

【問題5-16】④

配当性向40.0% = 1株当たり配当額4.8 / 1株当たり当期純利益12 × 100

* 1株当たり配当額4.8 = 配当金総額1,200 / 発行済株式数250

【問題5-17】①：(ア) 正 (イ) 正

ア) 問題文の通り。

イ) 問題文の通り。

【問題5-18】 【問1】④：390 【問2】③：60 【問3】①：12

ア) 販売費及び一般管理費390 =

広告宣伝費50 + 給料150 + 退職給付費用20 + 販売手数料40 + 租税公課20 + 減価償却費110

イ) 営業外費用60 = 有価証券売却損30 + 支払利息30

ウ) 売上高経常利益率12% = 経常利益180 / 売上高1,500 × 100

| | | |
|------------|-------|------------------|
| 売上高 | 1,500 | ←合計 |
| 売上原価 | 900 | |
| 売上総利益 | 600 | |
| 販売費及び一般管理費 | 390 | ← (ア) |
| 営業利益 | 210 | ←差額 |
| 営業外収益 | 30 | =有価証券利息10+受取利息20 |
| 営業外費用 | 60 | ← (イ) |
| 経常利益 | 180 | ←差額 |

【問題5-19】④：イオ

正味運転資本（＝流動資産－流動負債）とフリー・キャッシュ・フロー（＝営業キャッシュ・フロー－投資キャッシュ・フロー）はマイナスの値になることがある。